

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	舞台総合演習	
科目基礎情報					
開設学科	声優・演劇科	コース名		開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	120時間
単位数	4単位			授業形態	実習
教科書/教材	戯曲、朗読、発声等の資料を配布する				
担当教員情報					
担当教員	田中信也、いわいのふ、村松晴雄、山中誠也、細貝光司			実務経験の有無・職種	有・俳優
学習目的					
この科目を受講する学生は、プロの声優・俳優になるための知識、台本の読解、技術を身に付ける事を目的とする。					
到達目標					
台本を読み、作品の世界、役の人物を理解し、一緒に演じる人達と稽古を重ねて共有して行き、台詞を覚えて喋り、動きを考え、一つの芝居を創り上げて行くことを目標とする。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、コミュニケーション能力を高めるために、インプロ（ゲーム等）や色々なワークショップを行い感覚を広げて行く。 又、声優・俳優としてやっていくための身体（発声・筋トレ等）を作って行く。				
注意点	声優・俳優としてやって行くには、コミュニケーション能力が大切なので、あいさつがしっかり出来るようになり、一緒にやる人達と積極的に話をし、稽古を重ねて行けるようにする。又、理由のない遅刻や欠席はしないようにする。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	成果発表	50%	授業時間内に行われる発表にて評価		
	平常点	40%	欠席・遅刻、授業への取り組みで評価する		
	課題点	10%	課題への取り組みで評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	上記に＋台本を使用しての稽古		台本を読み、作品時代背景を理解して行く		
2回	上記に＋台本を使用しての稽古		台本を読み、キャラクターを理解して行く		
3回	上記に＋台本を使用しての稽古		台本を読み、キャラクタ間の関係性を理解して行く		
4回	上記に＋台本を使用しての稽古		台本を読み、作品を理解して行く		
5回	上記に＋台本を使用しての稽古		チーム分けをして、発表するメンバーで本読みしていく		
6回	上記に＋台本を使用しての稽古		チーム分けをして、発表するメンバーで本読みしていく		
7回	上記に＋台本を使用しての稽古		チームごとに粗立ち稽古をして行く		
8回	上記に＋台本を使用しての稽古		チームごとに粗立ち稽古をして行く		
9回	上記に＋台本を使用しての稽古		シーンごとに細かく何回も繰り返し稽古を行う		
10回	上記に＋台本を使用しての稽古		シーンごとに細かく何回も繰り返し稽古を行う		
11回	上記に＋台本を使用しての稽古		最初の通し稽古を行い、今後の課題を見つける		
12回	上記に＋台本を使用しての稽古		各々が課題点を中心に細かく稽古をして行く		
13回	上記に＋台本を使用しての稽古		通し稽古を行い、その後問題点を稽古する		
14回	上記に＋台本を使用しての稽古		通し稽古を行う。発表に向けての準備や確認		
15回	修了公演発表会		これまでの授業の成果を確認する		